

形を整え

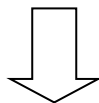
教育課程の編成・実施・評価・改善の PDCA サイクルを確実に回すために

○平成 25 年度の成果（ピンポイントの成果）

- ・何を、どのように評価するか（たとえば時数管理）
- ・どの組織が何をするか

○平成 26 年度の成果（組織的・計画的に PDCA をいかに回すか）

- ・組織間の役割とつながりの流れ（組織体制と役割分担）
- ・PDCA の見える化（工程管理表）



活用する

教育活動の質を高め、児童生徒に力と意欲を育む

○平成 27 年度の方向性

- ・重点目標等 4 点セットを教育課程検証サイクルにのせる
- ・その際、学校の実情に合わせて、最重点事項に焦点化してみる
たとえば
思考力・判断力・表現力をつけるために…
学校図書館の活用を推進するために…
学力・体力調査の結果からの課題を解決するために…

これまでの成果である、具体的な方法、組織体制、工程管理表を活用して PDCA サイクルの定着を！